四季報　秋号　第百三十九号（No.139）

芹沢文学研究会・会報

令和8(2026)年10月28日(水)刊行

＝秋の歌＝

やっと秋　朝夕涼し…
庭に咲く　金木犀の
香り爽やか

松林庵主人

◎芹沢光治良記念文化財団

新刊図書紹介

『現代文学とキリスト教』（勝呂奏著）　2026年6月25日　七月社発行

四六判　382頁　定価3800円＋税

〈神〉と出会った作家達。どのようにキリスト教に出会い、その影響と葛藤を作品に刻印していったのか。遠藤周作、森内俊雄を中心に。芹沢光治良についても書かれています。勝呂奏氏は、芹沢光治良記念文化財団の代表理事。

『伊豆の近代文学誌』（勝呂奏著）2025年7月4日　鼎書房発行　232頁

伊豆の地で、その風土や人々の中で、文学作品を書いた作家川端康成・芹沢光治良・井上靖・小川国夫・藤枝静男・大江健三郎等の作品を論評している。勝呂奏氏は、伊豆市生まれで、2008年に『評伝　芹沢光治良　―同伴する作家』（翰林書房、2012年に『評伝　小川国夫　生きられる文士』（勉誠出版、2020年に『評伝　藤枝静男　或る私小説家の流儀』（桜美林大学出版会）を出版している。

☆沼津市芹沢光治良記念館

静岡県沼津市　我入道（がにゅうどう）　蔓陀ヶ原（まんだがはら）517の1

芹沢光治良　生誕130周年　記念文学講演会

『芹沢光治良と軽井沢～芹沢光治良と軽井沢ゆかりの～』

日時　11月22日(日)　13時30分～15時30分

場所　沼津市立図書館　4階視聴覚ホール

内容　第1部　講演　第2部　大藤さんインタビュー

講師　大藤　敏行さん（軽井沢高原文庫管長）　鈴木　吉維さん（芹沢光治良研究者）

定員　180人（先着順）　**参加料**　無料

申込・問合先　沼津市芹沢光治良記念館　☎ 055-963-6331　電子メール　kojiro@city.numazu.lg.jp

『芹沢光治良と軽井沢』

✪芹沢光治良文学愛好会の会報　通信　No.555　No.556　No.557　♠♡◆♧

芹沢光治良文学愛好会の例会、東中野区民活動センター

第558回　8月30日(日)　13:00～21:00　読書会　洋室3（2階）　司会　豊田英文

テキスト　大河小説　**『人間の運命』**「愛」　第1章～第2章　（新潮社版　黒い表紙のもの）

4章は長いので2章を読んでいきたいと思います。

送付資料は、①大河小説『人間の運命』　林　寛仁（文芸評論家。小串信正の筆名）　雑誌〈国文学　解釈と鑑賞〉別冊　平成18年5月10日発行　至文堂発行

第559回　9月20日(日)　13:00～17:00　読書会　洋室4（2階）　司会　豊田英文

テキスト　大河小説　**『人間の運命』**「愛」　第3章～第4章　（新潮社版　黒い表紙のもの）

短編小説「習俗紀」雑誌〈改造〉昭和11年10月號（改造社）。

今月と来月のテキストになります。P 21の5行目までお読みください。

送付資料は、①短編小説「習俗紀」雑誌〈改造〉昭和11年10月號（改造社）。

第560回　10月11日(日)　13:00～17:00　読書会　洋室3（2階）　司会　豊田英文

テキスト　大河小説　**『人間の運命』**「愛」　第3章～第4章　（新潮社）。

短編小説「習俗紀」雑誌〈改造〉昭和11年10月號（改造社）。

送付資料は、①鈴木吉維著『芹沢光治良の神と愛』目次等。②『人間の運命』登場人物　小田英人

※この3回の例会は、既に行われたものです。愛好会の活動報告の紹介です。

✡著作紹介　『わが青春の芹沢光治良　―愛と死の文学』　大野一道（おおのかずみち）著

2026(令和8)年3月30日　吉田書店発行　定価1760円(税込)　四六判

芹沢光治良生誕130年記念　講演会(5月31日(日)　サロン・マグノリア)が行われたようですが、演題と同じ著作『わが青春の芹沢光治良―愛と死の文学』が、3月30日に吉田書店から出版されています。第一部(出会いまで)、第二部(わが青春の芹沢作品)。

大野一道先生は、昭和16(1941)年に東京で生まれ埼玉で育つ。東大大学院フランス文学専攻で、ミシュレを研究しました。『ミシュレ伝』『民衆の発見―ミシュレからペギーへ』『ミシュレ入門』を藤原書店から出版。中央大学名誉教授です。

大学3年生から大学院にかけての5年間、作家芹沢光治良をしばしば訪問し親しく教えを受けたようです。自伝的作品として『春のはなびら―戦争の残照　わが幼年時代』を吉田書店から出版しました。そして最新作として『わが青春の芹沢光治良―愛と死の文学』を書いて出版したのです。どうぞ、お読み下さい。

芹沢文学研究会・事務局／　〒872-1651　大分県 国東市国東町浜(はま)4765 小串(おぐし)信正方　☎FAX 0978-77-0565

◎同封資料／①随筆「美人と美女」芹沢光治良　雑誌 別冊一枚の繪 美人百景 昭和57年1月1日発行
②小説「悲しきユネスコ」芹澤光治良　昭和23(1948)年8月1日 小説員社発行　【①②資料提供 中村 輝子】
③文学評論 連載「芹沢文学講話」㊼石丸助三郎―ペールとして生涯を終えた―　芹沢文学研究会 代表 小串 信正

連載 ✉ 会員便り No.91　第4回目の会員順の会員便りとして連載

『芹沢光治良の神と愛』―安生鞠のことなど

東京都町田市　鈴木(すずき) 吉維(よしつな)

このたび明治書院から『芹沢光治良の神と愛』を出版することになりました。今年は『神の微笑』の刊行から四十年になることもあり、〈神シリーズ〉の執筆過程や評価等について論評するとともに、若き日の恋人である安生鞠さんについても、その実像を明らかにしたいと考えました。

安生さんについては多くの芹沢作品に登場しながら、詳しいことがほとんど分かりませんでしたが、過日、跡見女子学園の松井慎一郎教授から経済学者である河合栄治郎日記の写しを提供していただく機会を得ました。河合氏は東京女子大学で安生さんを教えていて授業のことや就職のこと、ベルリン大学留学中のことなど、多くのことを記しています。芹沢先生も「S」として登場し、安生さんと恋愛関係にあったことが書かれています。

『人間の運命』の中で高場加寿子がドイツへ留学する時、次郎が大急ぎで横浜港へ駆けつけるものの、船は無情にも岸壁を離れていくという場面があります。ドラマチックでいかにも小説な虚構のようですが、実際このようなことがあったようです。安生さんは就職や留学のことを芹沢先生に相談することなく自分の意志で決め、離れ離れになる時になって愛情を告白し、芹沢先生もそれに応えるべく手紙を書き送ったことが読み取れます。

また山本玄峰老師がドイツを訪ね、安生さんや可合氏に虚偽を語り、芹沢先生との関係を壊そうとしたのも事実です。玄峰老師は帰国後、安生さんがドイツで婚約したという偽りの話を、芹沢先生の耳に入るように流したようでもあります。芹沢文学は事実から虚構へ移行していくという特徴があり、事実とフィクションの境が曖昧ですが、事実を確認していくことによって、作品をより深く味わうことができます。

今年は芹沢先生の生誕百二十年の記念の年で、沼津の芹沢光治良記念館も年度末には『ビジュアル版　人間の運命』を刊行する予定です。芹沢文学が今後も読み継がれていくよう、私も微力を尽くして参りたいと思います。

◎芹沢文学 豆知識㉛ 芹沢光治良と文化勲章 ―なぜ受賞しなかったのか？

芹沢光治良は、『巴里に死す』『サムライの末裔(一つの世界)』『アイダ夫人(巴里夫人)』が仏訳されロベール・ラフォン社から出版され、フランス詩人連盟よりフランス友好国際大賞が与えられました。後に、フランス政府からコマンドール章が贈られました。大河小説『人間の運命』に芸術院賞が与えられ、日本芸術院会員に選ばれました。社会的には日本ペンクラブの会長になり、日本文化研究国際会議の開催に尽力しました。新潮社から『芹澤光治良作品集』(全16巻)も出版されました。これだけの業績があるのに、どうして文化勲章が与えられなかったのでしょうか？　私は、日本の戦後の作家で、文化勲章に一番相応しい作家であったと思います。ある噂では、文化功労者の選定の時に、いざこざがあり、断ったのではないのですが、選定されなかったとか。文化功労者の中から文化勲章が選ばれるようになり、とうとう選ばれなかったのです。

その後に文化勲章に選ばれた丹羽文雄・尾崎一雄・瀬戸内寂聴・田辺聖子・河野多恵子・平岩弓枝等と比べても、芹沢光治良が文化勲章に選ばれなかったのはおかしいと思います。**加賀乙彦**は文化功労者になりましたが、死去して文化勲章には選ばれませんでした。**大江健三郎**はノーベル文学賞を受けて、文化勲章も一緒に与えられようとしましたが、拒否しました。画家の**熊谷守一**は、文化勲章を辞退しました……。

現在、94歳の高齢で創作を継続している**五木寛之**は、膨大な小説や随筆を書き、大河小説『青春の門』(全9巻で未完)も著作しているのです。五木寛之にも文化勲章が与えられるべきです。芹沢氏と五木氏も、私は良識派の作家として評価しています。

▽新入会員の紹介

その後の入会者は有りません。新入会員をお誘い下さい。♤ ♣ ♡ ◆

……☆ 編集後記 ★……　編集責任　小串信正……

芹沢文学研究会の会報 第139(秘)号と同封資料をお届けいたします。

まだまだ残暑ですが、朝夕は涼しくなりました。秋雨前線と台風が何度も日本に押寄せて、大雨で川や沼が氾濫し、暴風では家が倒壊する被害が各地にありました。台風30号は温帯低気圧になりましたが、大雨や暴風は続いています……。

世界は、独裁者が侵略や戦争をして、石油や穀物が流通せずに、各国に多大な迷惑をかけています。アメリカのトランプは、イランへ爆撃しましたが、何の成果も無く、中間選挙で敗けないようにと慌てていますが、まるで裸の王様です。ロシアのプーチンは、ウクライナへの侵略戦争を止めようとしません。中国の習近平は、共産党独裁から個人崇拝のための軍国化で独裁者になろうとしています。北朝鮮の独裁者金正恩は金王朝を継続しようと、人民を抑圧しています。金正恩は肥満と糖尿病で脳梗塞が心配されています。こんな独裁者は皆、平和な地球上から消えてしまえ‼